

令和4年11月21日

能代市教育委員会
11月定例会会議録

能代市教育委員会

令和4年11月21日、能代市教育委員会定例会を能代市中央公民館2階視聴覚室において、午後4時25分に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高橋誠也
委員	木村高寛
委員	西村省一
委員	中嶋佐千子
※(欠席)委員	寺田恵美子

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	伊藤勉
教育部次長	関俊英
教育総務課長	柳谷敬
能代教育事務所長	本間将
学校教育課長	矢田部瑞穂
学校教育課参事	三洲龍太
学校給食センター所長	工藤久美子
生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長	山崎和夫
教育総務課長補佐	秋林純

○本日の会議に付した事件

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名員の決定

日程第3 前回定例会会議録の承認

日程第4 教育長報告

日程第5 議事

承認第5号 臨時代理の承認について

議案第41号 令和4年度の能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について

日程第6 その他

【日程第1 会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日1日限りとし、会議時間を午後6時までとする。

【日程第2 会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、3番西村委員と5番中嶋委員を指名する。

【日程第3 前回定例会会議録の承認】

○教育長

委員の皆さんから異議がないので、前回10月定例会会議録を承認する。

【日程第4 教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

- 10月28日(金) 教育委員会訪問(浅内小学校、二ツ井中学校)
- 10月31日(月) 市議会10月臨時会(～11/4 新庁舎 議場)
- 11月 3日(木) きみまちカンパニーフェスティバル(二ツ井きみまち商店街)
- 11月 7日(月) 教育委員会訪問(淳城南小学校、東雲中学校)
- 11月 8日(火) 第2回能代市社会教育委員の会議(新庁舎 会議室7)
- 11月 8日(火) 令和4年度秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県郡市教育長協議会合同研修会(秋田市役所)
- 11月 9日(水) 令和4年度第1回県北地区教育長会議(北秋田地域振興局)
- 11月10日(木) 防犯標語選考会(二ツ井町庁舎 庁議室)
- 11月11日(金) 教育委員会訪問(能代東中学校)
- 11月16日(木) 教育委員会訪問(淳城西小学校、能代第一中学校)
- 11月16日(木) 教育支援委員会(新庁舎 会議室9・10)
- 11月17日(木) 教育委員会訪問(第五小学校)
- 11月17日(木) 令和4年度能代市教育委員会による校長面接
(二ツ井町庁舎 3階会議室1)
- 11月18日(金) 市議会全員協議会(新庁舎 議場)
- 11月18日(金) 史跡檜山安東氏城館跡調査整備委員会(檜山崇徳館)
- 11月21日(月) 能代っ子中学生ふるさと会議(能代市文化会館 大ホール)
- 11月21日(月) 教育委員会定例会(中央公民館 視聴覚室)
- 11月22日(火) 令和4年度能代市教育委員会による校長面接
(二ツ井町庁舎 3階会議室1)
- 11月25日(金) 令和4年度第18回秋田県小・中学校生徒指導研究大会能代山本大会
(文化会館 大ホール)
- 11月28日(月) 令和4年度地教委教育長・校長・県教委 三者協議
(山本地域振興局)
- 11月29日(火) 市議会定例会(～12/20 新庁舎 議場)
- 11月29日(火) 令和4年度能代市小・中学校教頭会第3回研修会
(二ツ井町庁舎 大会議室)
- 12月16日(金) 能代市総合教育会議(二ツ井町庁舎 大会議室)
- 12月22日(木) 教育委員会定例会(二ツ井町庁舎 庁議室)

○木村委員

秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県郡市教育長協議会合同研修会の研修内容を伺いたい。

○学校教育課参事

中学生の部活動の地域移行化についての講演があり、国全体の動きについて報告があった。県内の状況について情報交換があり、能代市からも報告を行った。各市ともに今後の動向を心配しており、課題は組織づくりと指導者の確保、質の向上であるため、スポーツ庁と文部科学省が連携しながら、これからの方向性を決めて行こうとのことであった。

【日程第5 議事】

○教育長

「承認第 5号 臨時代理の承認について」説明を願う。

○学校教育課長

専決処分した損害賠償の額を定め和解することの報告について《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「承認第5号」を可決する。

次に「議案第41号 令和4年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について」説明を願う。

○教育部次長

議案第41号 令和4年度の能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について《資料により説明》

○教育長

質問等をお願いする。

○木村委員

感染症対策等支援事業費で、具体的に何を用意するのか。

○学校教育課長

学校からの要望に沿って、検査キットや体温を測る機械等について予算措置するもの。

○教育長

異議がないので、「議案第41号」を可決する。

【日程第6 その他】

○教育長

「その他」について

各課から 報告事項や連絡事項があれば、お願いする。

○教育部長

令和4年10月市議会臨時会の概要について

予算委員会文教民生分科会の審査状況について《資料により説明》

○教育総務課長

能代市教育等の振興に関する施策の大綱策定について《資料により説明》

能代市学校教育施設整備基金条例の制定について《資料により説明》

○教育部次長

第4次能代市社会教育振興中期計画（案）について《資料により説明》

○生涯学習・スポーツ振興課文化財保護室長

能代市文化財資料収蔵庫の管理運営（案）について《資料により説明》

○教育長

質問等をお願いする。

○西村委員

学校給食費の物価高騰対策支援事業費に関連して、学校給食費について物価が下がることは考えられず、給食費の値上げも非常に厳しい状況であるが、今後、物価高騰対策についてどのように考えているのか。

○学校給食センター所長

今回は、国の交付金を活用し、物価の上昇分について、子供たちに支援を行った。

物価高騰対策は、一つの自治体の課題ではなく、全国一律の課題ととらえているため、来年度もこのような状態が続く場合は、国の交付金の活用等を検討する中で、考慮していくことになる。

交付金を活用することができなかった場合でも、給食の量や栄養価等は確保していかなければならない。来年度は公会計に移行するため、その中で対応を検討していきたい。

○西村委員

能代市学校教育施設整備基金条例の制定について説明があったが、この基金を積み立てる際の財源について伺いたい。

○教育総務課長

旧常盤小中学校の有償貸付は、令和5年2月から令和9年3月末まで4年2ヶ月を予定しており、貸付による収入の合計は、国から指示があった積立額よりも多くなる見込みであるが、積み立ては令和5年度に一括で行い、貸付期間中の全貸付料が一括で納付されるものではないため、まずは、一般財源で積み立てることとなる。

貸付期間全体で考えると、貸付料が充当されていると考えることができる。

○西村委員

能代市文化財資料収蔵庫の管理運営について、庫内の一般公開はしないとのことであるが、指定文化財や貴重な資料があると思うので、できるだけ早く、特別展を企画、開催し、市民へ公開していただきたい。

○生涯学習・スポーツ振興課文化財保護室長

文化財資料収蔵庫に収蔵保管する資料については、できるだけ早くデータベースを作成し、公開したい。また、ある程度テーマに基づいて有機的に展示する企画展等にも活用できるように、整理に努めたい。

○中嶋委員

補助金等相当額210万1513円は、能代市が学校を建設する際に国から頂いた補助金の額なのか。

○教育総務課長

旧常盤小中学校は、学校施設整備の目的で補助金を頂き建設されたもので、学校施設を他の目的使用する場合は、補助金の返還が生じるが、補助事業完了後10年以上経った場合で、他の学校施設の整備等に活用することを目的とした基金へ積み立てる場合は、返還しなくてもよいことになっている。

補助金等相当額の算出方法は、貸付期間に係る補助金相当額と貸付額に係る補助金相当額のうち廉価な方となり、貸付期間や貸付面積等から計算した結果、額が確定したものである。

○教育長

質問等がないようなので、質疑を終了する。

続いて、委員から本日の議事や報告事項等以外で、意見等があれば、発言をお願いします。

○木村委員

新型コロナ感染症に関してだが、データだけ見ていると、0歳から10歳とその親世代の30代40代の数字が増えてきている。疫学的な面と精神的な面、その両面をきちんと学校側で指導し、感染した場合は、家庭の方まで目配りしていただければありがたい。

次に、学校訪問をした際、県外から来られている先生とお話をした。一生懸命、色々なものを能代の先生方から、いただき、盗もうという姿勢を強く感じた。誰か1人でいいから、ずば抜けた力を持った先生がいて、周りの先生方のレベルも自然と上がっていくという感じを受けている。私が学生の頃は、大学の先生が来て模範授業を行うこともあった。そういう方をお呼びするのも良いと思う。また、学校訪問の感想について皆様もご意見があったら、お聞かせいただきたい。

次に、本日、能代っ子中学生ふるさと会議を拝見した。子供たちのすばらしい、純粋な思いがあり、活動があった。これが、地域との連携、地域と一緒にやっというところになると難しくなる。大人がつくるまちづくりっていうのは、大変、人間関係が複雑で、ほとんど形になる前につぶされてしまう。「ふるさと」という4文字の中に流れている、思いというか、心というか、大人と子供では世界が違うような気がする。それが、地域との連携ということで、子供の夢をきちんとすくい上げながら、まちづくりをしていく。このバランス感覚がないと難しい。いくら子供からすばらしい意見をいただいても、形になっていかないのではないかな。今回の会議が素晴らしい意見だったがゆえに、そういった感じを受けた。

次に、二ツ井地域で、今年生まれた子供は5人いるか、いないかだと聞いた。この子供たちの小学校の入学式は5人なのか。そういう現状を踏まえた上での、能代市の学校教育のありよう、いくら努めても、生徒がいなかったらどうしようもない。だから持続可能なという言葉がこれからはキーワードになっていくと思う。

ふるさと、まつり、教育にも、この持続可能な社会をとということが関わってくる。もう10年も経たないうちに、そういう、時が襲ってくる気がする。

○教育長

コロナ関連は、連日、学級閉鎖等について報告がある状況であり、学校へ、発生当初の頃の危機意識や誹謗中傷への取り組み等、再度、呼びかける。

子供から感染しても、親から感染しても、誰も悪くないので、その対応について、呼びかけを行うとともに、学級内、学校内でそういうことがないように、注意していきたい。

○中嶋委員

学校訪問で二ツ井中学校へ行ったが、音楽の授業でICT、タブレットを使って、音楽をすごく上手に作っていた。

こういった才能が子供たちにあり、機器等を上手に活用できている、そんな状況に能代市がなっていることがとても素晴らしいと感じた。

○西村委員

学校訪問で能代第一中学校へ行ったが、全部の授業でICTを使っていた。音楽の授業は、本当にすごかったと思う。生徒たちが話をしやすい、発表をしやすい環境に随分なったのではないかという感じを受けた。

子供たちが将来大きくなっても、十分、話をして、伝えていけると思う。

○教育長

ありがとうございました。

木村委員からご心配いただいた、力のある先生についてであるが、ずば抜けた力をもったまでとはいかないが、そこにかなり近い授業をできる先生も増えてきている。

やはり授業を見ていると、力があるなという先生が能代にも何人もおり、専門官等をやっていたらいい。良い授業を、他の先生方にも広げていきたい。能代でトップの授業をする先生が必ずトップというわけでもなく、他の町にも良い先生は沢山いるし、大学の先生からも学ぶ機会を作っていきたい。

○教育長

他に意見等がないようなので、終了する。

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、12月22日木曜日午後2時から、能代市役所二ツ井町庁舎2階庁議室において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後5時20分閉会